

## 主な取組の状況



### 1 食を通じて健康な体をつくるために



バランスのとれた規則正しい食生活の実践や生活習慣病予防のための取組、また食品表示の適正化の推進や食の安全・安心に関する知識と理解を深める取組を行いました。



### バランスよく食べることの大切さを食育劇で伝えます

愛知県

#### 【概要】

愛知県は、子どもたちにバランスよく食べることや朝ごはんを食べることの大切さをわかりやすく伝えるために、小学校 60 校で食育劇の上演を行いました。

この劇は、「食事バランスガイド」の 5 色に対応させたキャラクター「食まるファイブ」が力をあわせてメタボ大魔王率いるメタボ將軍たちに立ち向かうストーリーです。

上演にあたっては、劇の前後に栄養に関する話やクイズなどを入れたり、保護者も一緒に観覧するなど、学校の協力をいただきながら、効果的に食を学ぶ機会となりました。



食まるファイブが合体！

子どもたちは大喜びです



#### 【成果や今後の取組等】

児童、保護者や先生からは次のような感想が寄せられ、子どもも大人もそれぞれがいろいろと感じとっていただいたことがわかります。

今後も、食育劇を始めさまざまな形で、食の大切さを多くの方に伝えていきます。

一日の中で 5 色そろう時が少ないので、元気だけど力が抜けてしまう時があった。

その原因に気づかせてくれてありがとう。(児童)

朝ごはんは一日の元気エネルギーを決める大切なものだとわかりました。(児童)

子どもが自分で食べたい物を選ぶ場面が増え、よく考えて選ぶ大切さを話す機会が多くなりました。子どもの健康を心配するあまり、しつこく言ったりうまく伝えられないことも度々。劇のように視覚的にわかりやすく伝えることも大切だと強く思いました。

“食”に対してあらためて親子で考える機会となりました。(保護者)

子どもたちは大喜びで見っていました。劇に込められたメッセージが良く伝わりました。どの子どもも自分の生活を振り返り、今後の食生活についてよく考えることができています。実生活に生きる貴重な機会となりました。(先生)



## 健康科学館で実施している小・中学校の食育・健康づくり

財団法人愛知県健康づくり振興事業団

### 【概要】

あいち健康プラザ健康科学館において、食べ物の大切さとバランスのとれた食事の選び方が理解できるように、健康科学館オリジナルのバランスチェック方法「ごーや牛にく」をテーマにした特別展示を平成 21 年 9 月 19 日から 12 月 6 日まで行いました。



「ごーや牛にく」について



ミートパズル



乳搾りに挑戦

また、小中学生を対象にした健康教育を実施。講義内容は食事・睡眠・運動といった正しい生活習慣を身につけることや健康づくりの大切さについて、対象となる児童・生徒の年齢に合わせた幅広い内容の資料（様々なデータを示し自分自身の意志で生活習慣を変えるように働きかける。）を使用し、健康科学館または各小中学校の体育館や教室で、クイズ形式の講義や実技を 30 分程度行っています。

平成 22 年度の実績 合計 112 件 23,690 人

(内訳： 小学校 89 件 17,747 人、中学校 23 件 5,192 人)



健康科学館シアターでの様子



小学校の体育館での様子



学校開放日に保護者も一緒に参加

### 【成果や今後の取組等】

出前による健康教育は、学校からの要望により始めました。小中学校からの依頼が多く、多くの学校から「子ども達がとても興味をもつようになった」「話の内容がわかりやすい」などの意見をいただいております、今後もこの取組を続けていく予定です。



## 食育グループ「moko」 幼稚園への食育出前講座

愛知県食生活改善推進員連絡協議会

### 【概要】

半田市食生活改善推進員連絡協議会は、平成17年に会員有志によるエプロンシアターを立ち上げ、平成20年に食育グループmoko（母狐）を結成しました。このたび市内幼稚園からの依頼で、園児141名及び保護者を対象とした食育講座を実施しました。「食べることは、こんなに楽しくて大切なこと」を劇やクイズ、歌遊びで伝えます。エプロンシアターでは、黄・緑・赤のエプロンをつけたお母さんの登場に園児たちは大うけです。また、野菜の断面図を見てその名前を当てるクイズでは、大きな声で答えが返ってきます。最後の「野菜バリバリ元気っ子体操」では、園児やお母さんから楽しそうな笑い声が……。園児たちの反響のすごさに元気と笑顔をもらい、お母さんたちの熱心さに心温まる思いをし、とてもやり甲斐のあった事業でした。



野菜クイズではお母さんも出題者！

### 【成果や今後の取組等】

子どもたちだけではなく、お母さん方を対象にした内容（食と栄養の話）も盛り込み、簡単に作れるレシピ集を配布したところ、非常に喜んでいただきました。今後もこうした子どもたちのためになる事業をしていきたいものです。



## 「子どもの生活習慣づくりフォーラム in あいち」でポスターセッションに参加

愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会

### 【概要】

10月24日に日本ガイシホールで開催された「子どもの生活習慣づくりフォーラム in あいち」においてポスターセッションに参加しました。これは、子どもの生活習慣づくりに関する取組や調査研究事例等を発表し、その成果を普及・啓発することによって、広く一般に子どもの正しい生活習慣づくりの重要性を啓発する目的で行われました。

本協議会は県内統一テーマである『朝食をしっかり食べよう！』に基づく研究実践を愛知県の取組として発表しました。朝食に関する実態調査をもとに学校給食を中核とした学校、家庭、地域における実践を紹介しました。



テーマ『生活習慣づくりは朝食から』

### 【成果や今後の取組等】

東海7県（三重、岐阜、長野、富山、福井、静岡、石川）の協力もあり学校給食を中核とする食育の取組を来場者に広くPRできました。また、参加県の食育推進計画や学校における食育の取組状況も知ることができ、参考となる意見も数多く聞くことができました。



## みどり保育園の「ハッピー♥にんじん」

社会福祉法人愛知県社会福祉協議会保育部会

### 【概要】

健康な生活を送るためには、栄養バランスのとれた食事を摂ることが大切です。しかし、適切な食事（給食）を提供しても、食べ残しがあつては十分とは言えません。当園では、子どもたちが苦手とする「にんじん」をハート、星、ミッキーなどに型抜きしたものを数個、料理に入れ込み、1クラスで1~2名の子の副食に配膳されるよう工夫しています。その名も「ハッピー♥にんじん」。運よく配膳されると「やったー、ハッピーにんじんだあ!」と大喜びでみんなに自慢しながら食べています。



「ハッピー♥にんじん」

### 【成果や今後の取組等】

食育から始まった「ハッピー♥にんじん」ですが、子どもが苦手な野菜がひとつ食べられたことで自信となり、多方面にも積極的になるなど良い影響が広がっています。にんじんは給食で毎日のように使用される食材なので、日ごろの「がんばり」を応援する趣旨で、どの子にもひと月に一度は配膳するよう担任が工夫しています。

家庭でも子どものリクエストにより、料理の中に「ハッピー♥にんじん」を入れてくださる保護者が増えました。親子での日々の小さな楽しみが子育てにもよい影響となり、園と保護者が会話できるよいきっかけにもなっています。



## 名古屋市立旗屋小学校「みんなで作ろう！旗屋の給食」

愛知県小中学校長会

### 【概要】

名古屋の旗屋小学校では、「心も体も元気になろう」をテーマに、食に関する指導に取り組んでいます。学期に1回、「みんなで作ろう！旗屋の給食」を行い、学校独自の献立を実施しています。高学年が献立を考え、低学年が献立を選ぶことで、全校で献立作りに関わります。

### 【成果や今後の取組等】

「みんなで作ろう！旗屋の給食」で献立に深く関わってきた児童は、嫌いなものでも食べようとする気持ちを持ち、残さず食べる姿勢をみせています。さらに、献立を考える高学年は、低学年のことを思い、低学年は、高学年が一生懸命考えてくれたことや食べ物への感謝の気持ちをもっています。今後も、家庭との連携を深めながら、子どもとともに実践を進めていきたいと思

います。

<2学期実践例：独自献立実施日12月7日>

#### 献立を考える（2種類の献立を作成）

- ・6年生→家庭科の授業と関連し、ごはんがすすむ主菜
- ・5年生→総合学習の時間の「旗屋小・野菜ソムリエ」で学んだことを生かしておいしい野菜の副菜
- ・4年生→2年生の育てたさつまいもをおいしく食べられる副菜

#### 献立を選ぶ（1種類を選択）

- \* 低学年が、高学年の考えた献立をもとに作られたA・B献立から、高学年の気持ちや健康のことを考え選ぶ。

#### 献立の決定



「みんなで作ろう！旗屋の給食」でごはんのおかわりをする1年生



## 武豊町立武豊中学校 「家庭や地域とともに食について考えよう」

愛知県小中学校 PTA 連絡協議会

### 【概要】

学校での食育の実践を家庭や地域に広げる活動に取り組んでいます。学校保健委員会では、保健委員会の生徒が中心となり、食についてのアンケート結果を全校生徒にプレゼンテーションし、食事の大切さを訴えました。その後、生徒、教師、保護者のそれぞれの代表者に加え、地元の農作物生産者、流通業者、学校医を招いてパネルディスカッションを行いました。それぞれの立場から、食について普段考えていること、気をつけていることなどの意見を出し合いました。



学校保健委員会

また、栄養教諭が講師となり、生徒や保護者を対象に食育セミナーを開催しました。朝食の内容を充実させる工夫や、肥満につながる恐れのあるスナック菓子やジュースなどの適切な摂取法など、実験を交えながら楽しく学び合うことができました。

### 【成果や今後の取組等】

生徒は、食に関する学習や行事などの活動を通して、食に関する知識を身につけることができました。また栄養教諭による指導や、保護者や地域の方と一緒に考えたことで食への意識が一層高まり、その成果の一端は、給食の残食率が0.3%まで下がったことから伺えます。

今後は、食事に対して意識の低い生徒や家庭の食生活の改善が課題です。そのため、学校だけでなく地域の力を借りての食育推進の必要性を感じています。



## 子育て応援団 チュウキョ〜くんのすこやかフェスタへ参加！

社団法人愛知県栄養士会

### 【概要】

10月23日から24日に日本ガイシホールで、「子育て応援団チュウキョ〜くんのすこやかフェスタ」（中京テレビ放送主催）が行われ、愛知県栄養士会からは子育て栄養相談及び骨密度測定、とにとクラブによる食育寸劇を企画、参加しました。

2日間で、子育て栄養相談・骨密度測定合わせて約200名の参加があり、栄養相談では子連れの家族から離乳食や偏食、食物アレルギーの相談が多くありました。

### 【成果や今後の取組等】

当日はパパ・ママ・子どもたちがたくさん集まり、楽しいイベントになりました。初めて骨密度測定を行った方も多く、骨密度測定を通して栄養知識への興味・啓発につながったのではないかと思います。今後もいろいろなイベントに参加し家庭や地域への啓発活動を継続していきたいと思っています。



子育て栄養相談の様子



## 若年層向けのメタボ予防・啓発映像の作成、配信

愛知県

### 【概要】

愛知県では、平成 20 年度に県内約 1,500 人の大学生を対象とした生活習慣の調査と約 250 人の写真撮影による 2 日間の食事状況調査を実施しました。

男子学生の 2 人に一人、女子学生の 3 人に一人に朝食欠食習慣が見られるとともに、食事内容では、エネルギーに対して脂肪の占める割合について国が示す上限値を 5 割の人が上回るなど食の欧米化が顕著でした。

このように分析した内容をもとに、メタボリックシンドローム予防の観点から映像媒体「あなたの生活習慣ホントに大丈夫!？」を作成し、動画配信サイト（ユーチューブ）にて公開しています。



### 【成果や今後の取組等】

映像媒体「あなたの生活習慣ホントに大丈夫!？」を県内大学、短期大学等へも配布し、新生のオリエンテーションや健康診断の際に活用いただき、若年層へのメタボリックシンドローム予防、健康づくりに役立てていきます。



## 「げんきな園児・めざせ未来の 8020」

社団法人愛知県歯科医師会

### 【概要】

9 月 18 日に、あいち健康プラザ健康科学館ヘルスサイエンスシアターにおいて、8020 達成地域活動支援事業研修会「げんきな園児・めざせ未来の 8020」を開催しました。当日はゲストに 8020 県民健口大使の立浪和義氏を迎え、8020 を達成された方等の表彰や、園児の歯科保健教育に役立つ講演会を行いました。

- ・「8020 は乳幼児期の歯・口の健康づくりから～食育・口腔ケアを通じた歯科からの健康支援～」  
昭和大学歯学部小児成育歯科学教室・井上美津子教授
- ・「8020 表彰者の追跡調査からみえてきたもの」  
愛知県歯科医師会地域保健部・藤田尚臣氏
- ・「園児と楽しく、上手にブラッシング」  
(財)ライオン歯科研究所歯科衛生士・湯之上志保氏

### 【成果や今後の取組等】

幼少期からより良い口腔状態を維持することが 8020 達成のキーワードなので、健康で質の良い暮らしを送り続けていくためにも、歯と口の健康維持の重要性を広く周知することに努め、家庭や幼稚園・保育園等での歯科保健知識への啓発を促す事業の展開を目指していきます。



研修会の様子



## 企業と連携 歯に関する食育イベント開催！

社団法人愛知県歯科医師会

### 【概要】

11月21日にアピタ長久手店で、歯に関する食育イベントを企業と共同で開催しました。当日は歯科医や歯科衛生士による歯のセルフチェックや口腔内カメラを利用した歯科相談、咬合力競争などのイベントを行いました。

市町村などで開催される健康を目的としたイベントの場とは異なり、買い物客を対象とした場での開催でしたが、日常の食を通してのお口の健康啓発事業としては、新しい展開ができました。

### 【成果や今後の取組等】

今後も、協賛企業と歯科医師会との共同による「来場者参加型のイベント」を工夫しながら継続していく予定です。



歯科衛生士による歯の健康チェック



企業による食育イベント



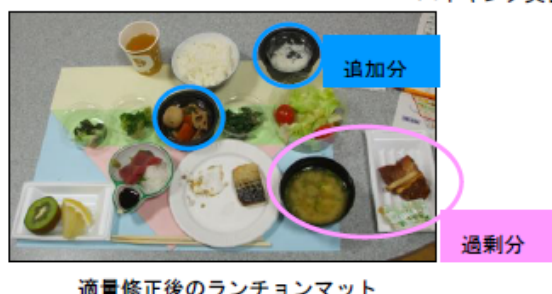
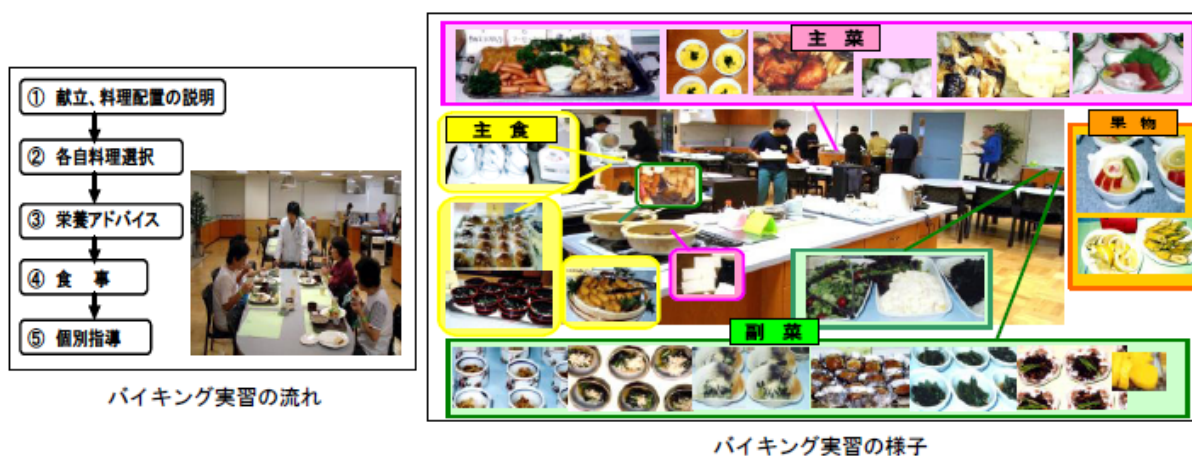
## 食事体験型教室の開催

財団法人愛知県健康づくり振興事業団

### 【概要】

生活習慣の改善を支援するため、食事体験型教室（バイキング実習）を実施しました。

対 象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メタボリック症候群の予防や生活習慣の改善を希望する人</li> <li>・職場の健康診断等により、メタボリック症候群またはその予備群と診断された人のうち、改善が必要であると企業の健康保険組合より選定された人</li> </ul>
開催期間・回数・人数	平成21年4月から平成23年3月までの2年間 計95回 延べ1,433名
教室の特徴	30種類の料理から参加者が自由に選択し、その選択状況、摂取状況から個別に食事アドバイスを行うもので、参加者それぞれにあった指導が可能



### 【成果や今後の取組等】

平成22年7月から食事バランスガイドに模したランチョンマットを用いて、選択した料理を自分自身で適正量に変えていくスタイルに変更しました。実際にやってみることで、自分の食事量についての理解がさらに深まり、実践にむけてのポイントがつかみやすいと好評でした。過去の調査では、バイキング実習を取り入れた教室への参加者の生活習慣の改善が確認できています。今後も、生活習慣病の予防に効果的に支援できるよう、この教室を継続していく予定です。





## 健康教育講座を開催

社団法人愛知県医師会

### 【概要】

一般県民を対象とする健康教育講座を毎月行っています。平成22年度は食に関連したテーマで4回実施したほか、学校保健担当が開催する多くの講演会においても食との関わりを取り上げています。

開催日	演題	講師	参加者
9月1日	酒は百薬の長か、酒は百毒	西山クリニック 西山 仁	214名
9月18日	新たな国民病「慢性腎臓病(CKD)」～あなたの腎臓を守る生活・食事について～	名古屋大学医学部 教授 安田 宜成	263名
10月12日	ヒヤリ・ハット事例から学ぶ食物アレルギー対策	藤田保健衛生大学 教授 近藤 康人	146名
12月17日	高齢期の身体活動と健康長寿	名古屋大学医学部 教授 榊原 久孝	270名

### 【成果や今後の取組等】

平成23年度においても、食との関わりをテーマにした講演会を実施していく予定です。

また、愛知県小児保健協会主催で行われた特別講演会「楽しく食べる食育で、家庭が変わり、子どもが伸びる」の内容について、一般県民特に若い母親向けに啓発する講演を企画実行したいと思えます。

さらに、「食品安全に関する情報システム」が全国展開され具体化していく中で、「健康食品・サプリメントによる健康被害」について、県民への啓発事業として取り組めるのではないかと考えています。



## 「食品の適正表示推進者講習会」の開催

愛知県

### 【概要】

食品の表示制度は複数の法令により定められているため、事業者の皆さんからわかりにくいとの声が上がっています。このため、食品小売業の従業員の方々に食品表示に関する基本的な知識を身につけていただき、各事業所において、適正な食品表示を推進する役割を担っていただくことを目的として、平成22年9月22日から12回にわたり、「食品の適正表示推進者講習会」を開催しました。

講習会では、食品表示に関する法令のうち、事業者の皆さんの関心が高い「AS法、食品衛生法、景品表示法、米トレーサビリティ法」について、県や国の担当者から講義を受けていただきました。



講習会の様子

### 【成果や今後の取組等】

参加者からは、「表示制度の基礎が学べてよかった」、「自分の部門以外のことについて知ることができた」、「表示の知識は持っているものの、再確認の機会になった」などの感想が寄せられました。

来年度も講習会を開催し、食品の適正表示の推進を図っていきます。



## 科学教室「食品を科学する～食品添加物(着色料)を調べてみよう～」

愛知県

### 【概要】

平成22年8月3日、名古屋市西区にある愛知県産業技術研究所食品工業技術センターにおいて、科学教室「食品を科学する～食品添加物(着色料)を調べてみよう～」を開催しました。

愛知県は、豊田佐吉が最初の動力織機の特許を取得した明治31年8月1日にちなんで、8月1日を「愛知の発明の日」と定め、発明や知的財産について県民の皆さんとともに考える日としています。

### 【成果や今後の取組等】

参加者は、身近な食品である「かき氷用のシロップ」を素材にして、職員の指導によりペーパークロマトグラフィーの実験を行うことで、食品の分析技術や食品添加物について学びました。

今後も、食品をテーマとした科学教室を開催して、食品に係わる技術や安全性などの啓蒙活動を実施する予定です。



講師の話に聞き入る受講生



真剣に実験する受講者



## 「夏休み！親子で食品工場見学」の開催

愛知県

### 【概要】

7月23日、豊川市のみそ製造工場において、県民の皆さんに食に関する正しい知識と食の安全・安心への取組について知っていただくため、「夏休み！親子で食品工場見学～みそができるまで～」を開催しました。

当日、県内在住の小学4年生以上の子どもと保護者7組15名の参加があり、みそ製造過程を見学し、米みそ作り体験を行った後、意見交換会を実施しました。

### 【成果や今後の取組等】

実際に食品を製造する現場を見ることにより、食に関する正しい知識と食の安全・安心への取組について、知識や理解を深めることができました。参加者からは、「工場見学で作業工程を見る事が出来、良い経験が出来た」「特に米みそ作り体験がよかった」「工場の人がとても味噌や工場を大切にしていることを感じた」などの感想がありました。

今後も県民に食に関する正しい知識と食の安全・安心について啓発していきます。



工場見学へ向かうところ



米みそ作り体験のようす



## ヘルシーセミナー開催！食物アレルギーについて講演会と“デモンストレーション&試食” 社団法人愛知県栄養士会

### 【概要】

現在、食物アレルギー患者は乳児では10%、幼児では5%、学童及び成人では3%あり、社会問題にもなっています。そこで、「食物アレルギー」について正しく理解していただくために会員及び県民を対象に、1月30日、南生協病院でヘルシーセミナー（講演会及びデモンストレーション&試食の2部制）を開催しました。

講演会では食物アレルギー専門医である伊藤浩明先生（あいち小児保健医療総合センター内科部長）の講演をいただき、皆さん熱心に話を聞いていました。また、デモンストレーションでは、管理栄養士が卵・牛乳・小麦粉を除いたメニューのポイントを説明しながら調理・試食を行い、参加者からは「毎日の食事作りや日常生活での過ごし方、アレルギーの最新情報について分かって参考になった」との意見がありました。

### 【成果や今後の取組等】

アレルギーのお子さんをもつお母さんや給食施設関係者など、約110名の参加者があり、注目度の高さがうかがえました。今後も県民・地域住民の栄養改善や維持、栄養の知識の普及のため、皆さんに興味を持っていただけるような事業をすすめていきたいと思っております。



デモンストレーションの様子



## 福祉医療公開講座の開催

社団法人愛知県薬剤師会

### 【概要】

12月19日に、愛知産業労働センターで開催された『福祉医療公開講座』において、当会理事が『薬剤師がはなす食育の話・2』と題した講演を実施しました。漢方の知識を取り入れた食材分類表を利用して、薬剤師の立場から来場者に分かりやすい講演を実施しました。

当日は、一般県民約800名の参加があり、食養生の考え方やバランスの良い食生活の大切さを楽しく学んでいただきました。



県薬剤師会・亀井会長あいさつ

### 【成果や今後の取組等】

この取組は、県民の方に正しい食養生やバランスのとれた食事の大切さを楽しみながら学んでいただくために実施したものです。

参加者からは『非常に有意義な講演だった』、『もっと長時間、話を聞きたかった』、『この続きが聞きたい』等、多数の反響があり主催者としても手ごたえを感じています。

今後も様々な機会を利用して『食養生を含めた食育や健康食品の正しい知識の普及』に努めていきたいと思えます。



金兌理事の講演



## 食のゼミナールの開催「うまみ調味料について」

愛知消費者協会

### 【概要】

愛知消費者協会はうまみ調味料について再認識するため、1月25日、ウィルあいちセミナールームにおいて「食のゼミナール」を開催しました。当協会会員を中心に(社)栄養改善普及会会員、一般消費者が110名参加しました。

### 【成果や今後の取組等】

このゼミナールは当協会と(社)栄養改善普及会が共催し、消費者が何気なく使っているうまみ調味料の原料や製造過程、そして安全性などいろいろと学び、知ることの大切さをあらためて感じました。

当協会は消費者が安心して生活できるよう、これからも勉強会等を続けていきたいと考えています。



講習会の様子



### 食育推進ボランティアと育児講座を開催

瀬戸市

7月7日、せとっこファミリー交流館で食育推進ボランティア(瀬戸市食生活改善協議会)の協力で育児講座を開催しました。

はじめに、乳幼児の食事についての話を聞いた後、七夕にちなんだおやつ作りの実習を行いました。「隣の優しいおばさん」のような推進員と一緒におやつを作ることで、食のあり方など講義を聴くだけではない生の声を通して、やさしく理解いただきました。当日は、親子25組の参加があり、参加者からは、「楽しかった」、「優しく接してもらえて嬉しかった」、「また機会があれば参加したい」といった声が聞こえました。



### 「家族とつって食べたい! 栄養満点朝ごはん」メニューを募集

尾張旭市

朝食の欠食や一人で食事する「孤食」を防ぐため、また、朝食の大切さを再確認し、家族と一緒に食事をするきっかけづくりとして、市教育委員会とともに「家族とつって食べたい! 栄養満点朝ごはん」と題して朝食のメニューを募集したところ、多数の応募があり、その中から入選作品を選びました。入賞者には、地元でとれたお米や野菜などが贈呈されました。

入賞者のメニューは市広報誌・市ホームページで公表し、情報を共有しました。



### 手作りみそで作る調理実習『かみかみメニューでおいしくかみかみ!』

岩倉市

五条川小学校では「歯と口の健康づくり」と「食育」を関連させた活動の一環として保護者が参加する学校保健委員会を行いました。

第1回で企業の出前講座を活用した「みそ作り」体験をし、第2回は出来上がったみそを使った「かみかみメニュー」の調理実習を行いました。かみごたえのある「イカのチャンチャン焼風」や「スティックサラダ・みそディップ」などを作り、おいしく、かみごたえがあると好評でした。



### 児童館で食育教室を開催

東郷町

4月から10月にかけて町内の全ての児童館で入園前の親子を対象に食生活改善推進員による食育教室を開催しました。普段から食事をバランスよく食べてもらうために、食材をその働き別に赤・黄・緑の3色に分けるゲームをしたり、外食や市販のお弁当を食べるときのポイントを紹介したりしました。また、手作りのおやつとしてごまのスコーンを配り、子どもたちはおいしそうに食べていました。



### 健康づくり計画「朝食コンテスト」を開催しました

長久手町

町では、7月に健康づくり計画の一つとして、朝食の役割や大切さについて関心を持ち、朝ごはんを食べることが心と身体の健康に密接に関係があることを知ってもらい家族、地域のコミュニケーションを図るために朝食コンテストを開催しました。コンクールには5名の方が2次審査に進み実際に調理を行っていただき、11月に町民祭りの会場で表彰を行いました。右の写真は、最優秀「朝はこれで賞」です。



### 好き嫌いなく何でもたべよう！

津島市

6月21日と8月10日に食生活改善協議会が、双葉幼稚園で園児を対象に好き嫌いをなくすことを目的に、食品を「黄・赤・緑」のグループにわけたペープサートや紙芝居を実施しました。

初めての試みでしたが、園児たちの、真剣なまなざしや、食品に対する興味、積極的に手を挙げる姿勢をみて、食を学ぶ楽しさを感じました。



### かにえレポート

蟹江町

蟹江町では、「かにえ生き生きプラン21」の「栄養・食生活」の分野を食育として位置づけ、部会を結成し取り組んでいます。キャラクターには、「旨味」成分のグルタミンくんが仲間入りし、年間2回発行の食育だよりや食育ランチョンマットで、食の安全、栄養バランスについてお伝えしています。

また、保育所のお友達は、「かにえっ子元気の歌」に振り付けをつけ、元気に歌って踊っています



### 保育所（園）でぴかぴかもぐもぐ教室を開催

飛島村

7月2日に飛島保育園、8月17日に第一保育所で「ぴかぴかもぐもぐ教室」を開催しました。5歳児、4歳児クラスを対象にした教室で、歯科衛生士から「むし歯予防」についての話を、管理栄養士から「3つの食品群」についての話をしました。

「むし歯予防」では、子どもたちが実際に歯みがきをしながら、正しい歯みがきの方法や歯ブラシの交換時期などについて話がありました。

「3つの食品群」では、3つの食品群の説明のあと、その日の給食で使われている食品を子どもたちが3つの食品群に分けました。実際に仕分けすることで、給食はバランス良くいろいろな食品が使われていることを学びました。



### 歯・口の健康と食育～噛ミング30をめざして～

東海市

東海市歯科医師会では、11月14日、東海秋まつり消費者広場において、歯科からの食育活動を行いました。

歯科保健分野から「歯・口の健康と食育～噛ミング30をめざして～」を提案し、感謝の気持ちを抱いて十分に噛んで味わうこと、噛むための歯と口の健康が不可欠であり、1口30回噛むことを推奨しています。歯の健康診断として セルフチェックガード 口腔内カメラでお口の中を点検 歯医者さんによる健康相談 歯ブラシ・パンフレットの配布を行いました。



### 給食調理員を講師に料理教室を開催

大府市

保育園で園児に提供している食事を給食調理員が講師となり、保護者や年長児を対象に調理実習を行いました。

8月7日 柘山保育園 保護者 21人参加

8月28日 大府保育園 年長児 17人と保護者 16人参加



### アイデア野菜料理コンテストの開催

東浦町

東浦町いきいき健康プラン21啓発の一環として、家庭での野菜摂取量を増やすことを目的とした野菜料理コンテストを開催しました。

応募総数24点の中から審査を行い、「大根もち」が最優秀賞に選ばれた他、入選4点が産業まつりにて表彰されました。

また、産業まつり内の健康展ヘルシーレストランにて食生活改善推進員連絡協議会によるレシピの配布と試食を行い、来場者に変大好評でした。



### 朝食メニューコンクールの開催

安城市

安城市では、子ども達が毎日きちんと朝食をとる習慣を身につけること、地元農産物を使うことで地域農業や郷土食に関心を持ち地産地消の推進を図ることを目的とし、市内の小学校5・6年生と中学生を対象に「第3回朝食メニューコンクール」を開催しました。

応募総数1,229点の中から、書類審査で12点が選ばれ、8月5日に調理実習審査が行われました。最優秀賞の作品は、1月の学校給食の献立に採用されました。



### 小中学校で保護者に朝食の啓発

高浜市

市内全小中学校の入学説明会や就学時健診で、次年度の新入生の保護者に朝食の重要性を栄養士が伝えました。

高浜市子ども食育推進協議会では、毎年テーマを決めており、平成23年度は「朝食」です。学校は日頃から子どもに朝食指導をしていますが、改善には家庭の協力が不可欠なので、保護者に朝食の効果等を知ってもらい、子どもが朝食を食べられるように協力をお願いしました。

参加した保護者は、朝食と成績の関係等を知り、感心していました。

